

令和2年 月 日

軽井沢町議会
議長 佐藤 敏明 様

赤井 信夫

研修報告書

- 1 日 時 令和1年8月23日（金）19時～21時
- 2 場 所 中軽井沢図書館 多目的室
- 3 研修内容 「コミュニティナースプロジェクト第9期の報告会」

主 催 Community Nurse Company 株式会社
コミュニティナースプロジェクト事務局
進 行 同社代表 矢田 明子 氏、同社 森本 氏、藤田 氏 ほか

概 要

「コミュニティナースとは、『人とつながり、まちを元気にする』コミュニティナースは、職業や資格ではなく実践のあり方であり、「コミュニティナーシング」という看護の実践からヒントを得たコンセプトです。

地域の人々の暮らしの身近な存在として『毎日の嬉しいや楽しい』を一緒につくり、『心と身体の健康と安心』を実現します。その人ならではの専門性を活かしながら、地域の人や異なる専門性を持った人とともに中長期的視点で自由に多様なケアを実践します。」

「コミュニティナースプロジェクトは、コミュニティナースとしての第一歩を踏み出すためのプログラムとして2016年より始まり、これまでに9期163名の修了生を輩出しています。（2019年9月末現在）

コミュニティナースのコンセプトを活かした地域づくりや事業づくりにチャレンジしたい方や、既に地域づくりや事業に取り組んでいる方でコミュニティナースのコンセプトを活かして取り組みを加速させたい方を対象に、実践からの振り返りを通じて、自らが実践する動機を深め、講座期間中に自分の地域での実践に活かします。」

（引用、出典：Community Nurse Company ホームページ）

今回のコミュニティナースプロジェクトは、軽井沢町を舞台に取り組みました。中軽井沢図書館、柳沢農園、ムーゼの森や町内の喫茶店やさまざまな場所で、コミュニティナースが、軽井沢の歴史と文化に触れ、暮らす人々の背景を知りながら、町で活動を展開して行く。その中で、地域というものを肌で感じながら、地域医療につなげて行くものだ。

その報告会に参加し、報告者の輪の中に入ってのテーブルセッションで、現場での様々な体験を、生の声として聴くことができた。

◎考 察

とにかく、参加者のパワーがすごい。受講生はもちろん、運営メンバーもどうしてこんなにポジティブなのかと思うくらいのパワーがみなぎっていた。そこには何も決まりがなく、自由に発想する開放感のようなものがあつた。研修や報告会というと、座学的なイメージがついて回るが、そういうものではなく、何か覚えて帰るというよりも、ハートで感じてそのエネルギーを持ち帰って伝播して行く。そのような連鎖を創造して行く会であつたとの印象である。こういう在り方もあるのだなということが、目から鱗が落ちる思いであつた。

以上